

# 安全を考える

- ・ 地域防犯への新たな取り組み
- ・ 学校を中心とした食育推進事業

近年、安心安全をキーワードにした取り組みが全国各地で行われており、当町においても様々な面での安心・安全への意識が高まりつつあります。今回は伊奈町が取り組んでいる2つの事業を紹介し、安全について考えたいと思います。

## 1 地域の安全

### 地域防犯へのさらなる取り組み

社会の多様化、生活習慣の変化などさまざまな要因により、犯罪は増加の一途をたどっており、自分の身は自分で守るといった意識の改革が必要となってきました。

最近、伊奈町においても窃盗などの事件が増加しつつあり、町でも警察と連携し、交番への人員増員の要望や防犯



交番相談員が配置された小室交番

灯設置など、安心・安全のまちづくりを進めています。

（小室交番の人員強化）

今年度より小室交番に交番相談員を配置し、防犯に関するみなさんからの疑問や質問、相談を受けられる体制が整えられました。

これにより同交番は、平日3名体制となり、今後、防犯に対する取り組みなど一層の効果が見られるものと考えています。

## ご 注 意 を !

～こんな犯罪が増えています～

### 街頭犯罪

- ・ 路上強盗
  - グループによる犯行が多く、暴行を受けることもあります。
  - (対策)・人通りの多い明るい道を通りましょう。
- ・ ひったくり
  - 被害者の9割が女性で、背後からバイク等で近づき、バッグを奪う手口です。
  - (対策)・防犯ネットやカバーをつけましょう。
  - ・人通りの多い明るい道を通りましょう。
  - ・車道と反対側の手にバッグを持ちましょう。
- ・ 車上狙い
  - 窓ガラスを破壊したり、合鍵によりドアを開ける手口です。
  - (対策)・座席にバッグなどを置かないようにしましょう。
  - ・ドアロックを忘れずにしましょう。

- ・ 自動車盗
  - 高級車や人気車が狙われやすく、その8割がドアロックしていても被害に遭っています。
  - (対策)・車から離れるときは鍵を抜き、ロックをしましょう。
  - ・イモビライザーやアラームを装備しましょう。
  - ・管理の行き届いた駐車場を選びましょう。

- ・ バイク・自転車盗
  - 乗り物盗は窃盗の約4割を占めるほど多発しており、その多くに少年が関与する傾向にあります。
  - (対策)・U字ロックやワイヤーロックなど二重ロックにしましょう。
  - ・防犯登録をしましょう。
  - ・路上放置や違法駐車をしないようにしましょう。

## 伊奈町犯罪統計

人口は1月1日現在

	人口	犯罪総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
12年	31,753	721	1	16	609	6	4	85
13年	32,579	689	4	14	579	6	0	86
14年	33,637	796	4	15	662	6	3	106
15年	34,589	754	3	15	597	5	8	126
16年	35,224	880	6	14	681	23	3	153
12・16年比較	3,471	159	5	-2	72	17	-1	68

(侵入窃盗犯)

	空き巣	忍び込み	居空き	金庫破り	学校荒し	給油所荒し	事務所荒し	出店荒し	その他	合計
12年	31	6	2	5	6	3	21	5	10	89
13年	37	9	0	6	1	9	21	9	10	102
14年	79	15	0	4	2	1	24	11	7	143
15年	39	20	4	4	3	0	20	10	11	111
16年	63	21	1				28	15	20	148
12・16年比較	32	15	-1				7	10	10	59

(非侵入窃盗犯)

	部品盗	自動車盗	バイク盗	自転車盗	車上狙い	かっぱらい	ひったくり	自販機荒	万引き	置き引き	その他	合計
12年	35	25	106	97	101	20	19	89	3	6	19	520
13年	56	17	30	112	87	7	30	90	11	3	34	477
14年	43	23	55	108	83	24	20	121	9	7	26	519
15年	44	25	54	87	131	13	10	73	27	4	18	486
16年	46	72	48	83	115		6	70	22		71	533
12・16年比較	11	47	-58	-14	14		-13	-19	19		52	13

このような警察や行政の取り組みだけでなく、地域住民のみなさんの中からも、自主防犯の動きが見られ、各地域において防犯パトロールや一声運動など、少しずつですが、防犯の意識が高まりつつあります。



防犯パトロール

（ 防犯組織結成へ ）  
自分たちの町は自分で守る

このような住民のみなさんの安心・安全に対する機運の高まりを好機ととらえ、町では今年度、各地区の防犯組織の結成を目標とし、その準備に現在取り組んでいます。

内容としては、町にある行政区を基本とした防犯組織づくりを骨格とし、「地域の安全は自分たちの手で」を基本理念としていくものです。

活動は防犯パトロールや一声運動、通学路の安全確保などが主に挙げられると思いますが、各組織でアイデアを出し合い、自らの手で地域の安全対策を進めていく形が理想と考えていますので、ぜひご協力をお願い申し上げます。

今後は、広報や回覧などを通じて、防犯組織の内容などを随時お伝えしていきます。

（ 安心安全な町をめざして ）

犯罪の大部分を占める街頭犯罪や侵入犯罪を防ぐには、地域の監視の目がとても重要となり、町でも犯罪を発生させない環境づくりを積極的に進めていきますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 防犯に関するお問い合わせは・・・

上尾警察署 048(773)0110  
小室交番 048(721)0934  
六道駐在所 048(728)1555  
町生活安全課 ②2282

## 2 食の安全

- 安全かつ安心な学校給食推進事業
- 学校を中心とした食育推進事業

15年度より  
文科科学省から地域指定を受ける

近年、食品の偽装表示や遺伝子の組替食品、そして野菜等の残留農薬の危険性など、食に対する安全性に対して、さまざまな問題が起きています。

また、その一方で児童生徒の朝食の欠食や脂質の過剰摂取など、食に関する問題も指摘されています。

このような環境の中、将来を担う児童生徒が安心した食生活をおくることは、とても重要な課題といえます。

町では平成15年度より、文科科学省から委嘱を受け、小室小学校・伊奈中学校・給食センターが一体となり、「安全かつ安心な学校給食推進事業」「学校を中心とした食育推進事業」を進めてきました。

## （ 研究内容 ）

15年度においては、「伊奈町安全かつ安心な学校給食推進事業」の中で、学校給食を取り巻く環境や課題に対して、グループを3つに分けて、給食の高い安全性を確保するための調査・研究を行いました。

その結果、物資選定面では食品衛生監視票などの公的書類による事前審査や地産地消の推進、納入面では納入業者の配送・保存状況のチェック、調理配膳面では衛生管理への細やかな配慮など食の安全性を重視した研究結果をまとめました。

「学校給食は、生きた教材」  
地域理解を深める

16年度からは、前年度までの研究実績を生かし、「学校を中心とした食育推進事業」に取り組んでいます。

「学校給食は、生きた教材」であることから、給食センタ



J A女性部との交流授業

1の出前授業をはじめとし、農業体験教室としての稲の栽培実習・親子料理教室・JA女性部との交流授業など地域との連携を重視し、地域の方々の協力により、事業を推進しています。



農業体験教室

（ 安心・安全な未来を ）

伊奈の未来を担う子どもたちが、安心して成長できるように、食の安全性についての関心を高めていきたいと思えます。また、学校・家庭・地域が連携して栄養バランスのとれた食事や望ましい食習慣の見直しを図り、食生活を改善しながら健やかな子どもたちの成長を見守っていききたいと考えています。